

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.59

2010.7.5

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

県内各9条の会で結成記念集会

東和

県南

パートII

とうわ九条の会創立4周年記念講演会・総会

6月19日、とうわ九条の会創立4周年記念講演会が開かれました。映画「いのちの山河」の原作「村長ありき」の著者及川和男さんが講演、70名が参加しました。

及川さんは映画や「村長ありき」では触れていないことも交えながら、深沢村長のすすめた村政や人となりについて話されました。また、東和町土沢出身の夫人ミキさんについても、自立した女性で夫と対等な人間関係にあったとエピソードも紹介しながら話され、そのミキさんの支えがあったからこそ深沢さんが活躍できたのだと、熱く語りました。

講演を聞いた参加者からは「具体的でわかりやすい話なので、9条も25条も頭に入りやすかった。」や「深沢ご夫妻が対等な人間関係というのがわかってよかった。どんな人とも対等というのは民主主義の基本だ。」と好評でした。特に地元の人間としては、行動力にあふれた聡明なミキさんの人柄やご夫妻の対等な関係を知ることができてよかったという声が多くありました。

思ったよりも町内からの参加者が多く喜んでいきます。講演終了後多くの方からカンパが寄せられ、全部で19,683円にもなりました。その後の定期総会では、世話人も新しく選出され（留任も多いですが）、任務を分担しより効率的な活動を目指すことになりました。



（とうわ九条の会 代表 武政美紀子）

平和憲法を守る県南のつどい

5月28日、岩手県一関市で「平和憲法を守る県南のつどい」（千田功平実行委員長）が開かれ、元「年越し派遣村村長」で内閣府本府参与の湯浅誠氏が講演しました。湯浅さんは、満席の約500名の市民を前に、「貧



困・いのち・そして憲法～若者の明日を考える～」と題して、「貧困」について多角的に話されました。

その中で「日本の相対的貧困率は、90年代以降に増加し、15.7%と6.4名に1人、2000万人に及び、健康保険、雇用保険、年金、生活保護などのセーフティーネットでも歯止めがかからず、「滑り台」のように一気に貧困化が進み、近年の人口減少や高齢化もこれを加速させ国民的な問題



となっている。」「戦争阻止の憲法9条と生活擁護の25条の関係は、一方通行的に語られてきたが、戦争と生活苦は深く関係し9条と25条は双方向である。」と指摘しました。

（一関九条の会 事務局）

今月の署名行動

7月9日(金) 12:00~12:45に「管町アーケード入口」にて行います。是非参加ください!

核兵器のない世界を～ニューヨーク行動参加者レポート

いわて生協ではニューヨーク派遣に向けて約80万円の組合員カンパ、280通のメッセージが寄せられ、反町久美さん（滝沢村）と伊藤稲子さん（盛岡市）の2人が代表として参加しました。

戦争責任や歴史認識の問題など、いろいろ山積みな課題はあっても、「核は使ってはいけない」という一点で、共通する思いを集めて行動することが大切だと思いました。日本人学校やユダヤ人の博物館での被爆証言活動は、聴く人たちの真剣さから、とても有意義な活動と実感。この行動に参加するために必要なのは、体力・トライ精神・熱い思い・少しの英語です！（反町久美・写真左）



「核がある限り平和ではない」と書いた小学6年生の作文（昨年ピースアクションinヒロシマに参加した時の感想文）を持参していたので、日本人学校5、6年生の子どもたちに読みました。原爆の話聞いたのは初めてと言っていた子どもたちからは“自分ができることを平和についても考え、勉強していきたい”との感想があり、今この時から、未来に向かって動き出していることを感じました。



（伊藤稲子・写真右）

5月2日に行われた「核兵器のない世界のための国際行動デー」・ニューヨーク行動では、日本原水協から1,500人を超える参加があり、岩手からは、地域原水協をはじめ岩手被団協や労働組合の代表ら13名が参加し、その1人としてニューヨークに行ってきました。

これに向けて取り組んだ国際署名（「核兵器のない世界を」）は691万2,802人分にのぼり、国連近くの公園に大量の段ボールが積み上げられ、市内では世界から一万人が参加しての大パレードが行われました。

日本からの参加者を中心に1,600人が参加したりバーサイド教会（キング牧師がベトナム戦争反対の演説を行った場所）での公開シンポジウム、国連のフロアで開かれた原爆パネル展や岩手出身の歌手・きたがわてつさんも出演したピースコンサートや、タイムズスクエア通りなどで行われた署名行動に参加し、ニューヨーク市民にアピールしてきました。



核廃絶を願い世界から1万人以上が集まった事に熱い思いを感じ、共に参加した仲間も「かつてない反核平和運動の高まりを感じる」と感想を語っていました。（いわて労連 工藤 和雄）

10年ぶりに最終合意がなされたのは前進と言えますが、核廃絶にむけては小さな一歩。今後も核兵器も戦争もない平和な世界実現のためにいっしょに取り組んでいきましょう。

コラム 「憲法改正原案」が国会提出？

前回、「改憲（憲法改悪）」機運の盛り上げ気勢に対して、警戒する必要があることと「改憲」のための国民投票法施行は廃止が求められているというコラムを書きました。

しかし今、最も暑い政局の中で「新憲法の制定」「憲法改正原案の提出」「自主憲法制定」が「堂々と」「声高に」示され、その他陰に潜んでいる「改憲」論を糾合し、再び「改憲」機運を盛り上げる気勢をあげています。過去に教育基本法はアツという間に「政局」で改悪されたことを思うと一層の警戒が必要です。

「憲法改正の焦点は憲法9条の改正。」「平和憲法・9条をまもる」岩手の会は学習会を盛んにし、どんな政局の下であっても、同じ思いを持っているみなさんと、「改憲」論に打ち勝っていくことが求められているのではないのでしょうか。（事務局）